

宮 崎 県 感 染 症 週 報

宮崎県業務感染症対策課・宮崎県衛生環境研究所

令和7年第46週 (ARIのみ第45週) の発生動向

□トピックス

・インフルエンザ(定点把握対象疾患)

第46週(11/10～11/16)の県内定点当たりの報告数が12.2となり、今シーズン初めて流行注意報レベル基準値(10)を超えた。昨シーズンと比較して4週間早く、今後の動向に注意が必要である。詳細後述。

□ 全数報告の感染症 (46週までに新たに届出のあったもの)

1類感染症：報告なし。2類感染症：結核2例。3類感染症：腸管出血性大腸菌感染症1例。
4類感染症：日本紅斑熱1例、レプトスピラ症1例。5類感染症：百日咳3例。

	疾患名	報告 保健所	年齢群	性別	病型・類型	症状等
2類	結核	宮崎市	90歳代	女	肺結核	発熱
		都城	20歳代	女	肺結核及び粟粒結核	咳、痰、発熱
3類	腸管出血性大腸菌 感染症	宮崎市	50歳代	女	—	腹痛、水様性下痢、血便、嘔吐、発熱
4類	日本紅斑熱	日南	80歳代	男	—	発熱、刺し口、肝機能異常
	レプトスピラ症	小林	60歳代	男	—	筋肉痛、その他
5類	百日咳	都城	5～9歳	男	—	持続する咳
		延岡	10歳代	女	—	持続する咳
		日南	0～4歳	男	—	持続する咳

□ 定点把握の対象となる5類感染症

・第46週の定点医療機関からの報告総数(急性呼吸器感染症除く)は648人(定点当たり32.9)で、前週比122%と増加した。

なお、前週に比べ増加した主な疾患はインフルエンザ、伝染性紅斑で、減少した主な疾患は新型コロナウイルス感染症、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、感染性胃腸炎であった。

また、第45週の急性呼吸器感染症の報告総数は1,537人(定点当たり54.9)で、前週比108%と増加した。

【インフルエンザ】

報告数は342人(12.2)で、前週比226%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値*(0.9)の約14.1倍であった。年齢群別は15歳未満が全体の約8割を占めた。

【伝染性紅斑】

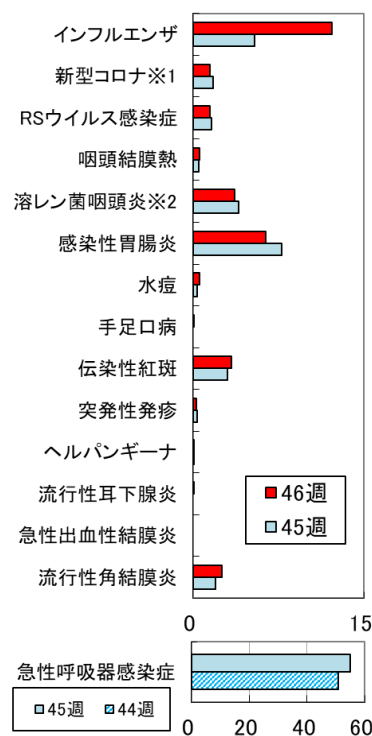
報告数は51人(3.4)で、前週比113%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値*(0.6)の約6.2倍であった。年齢群別は3歳から6歳が全体の約7割を占めた。

【感染性胃腸炎】

報告数は96人(6.4)で、前週比82%と減少した。例年同時期の定点当たり平均値*(10.7)の約0.6倍であった。年齢群別は1歳から3歳が全体の約3割を占めた。

* 新型コロナウイルス感染症流行前5年間(2015—2019)の当該週、前週、後週(計15週)の平均値

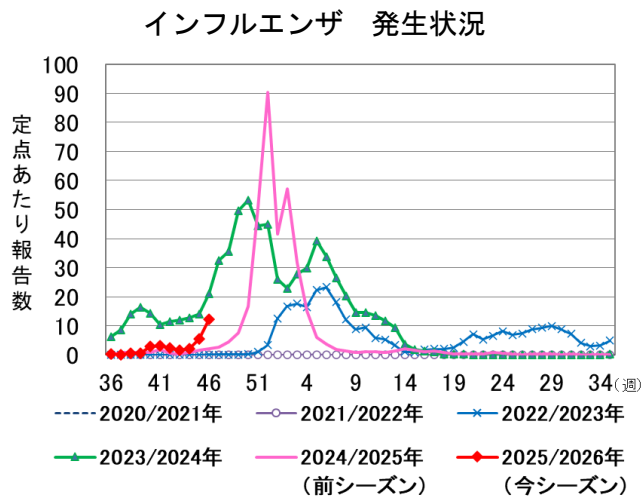
《前週との比較》



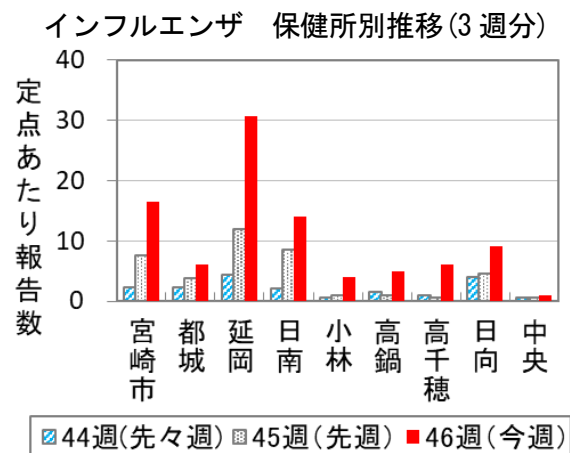
定点あたり報告数

※1 新型コロナウイルス感染症

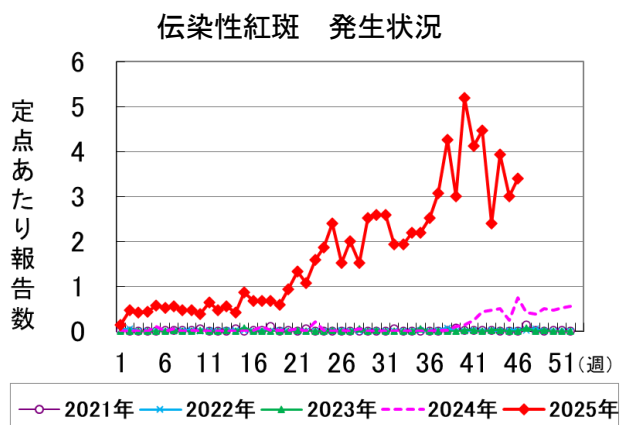
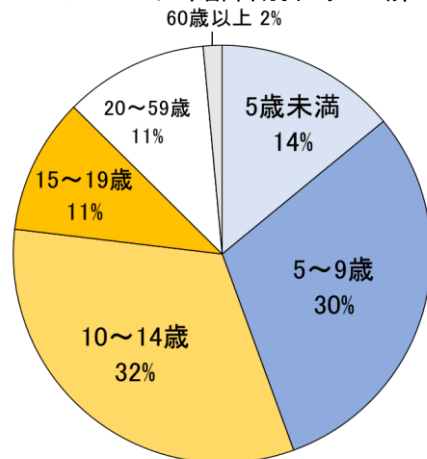
※2 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



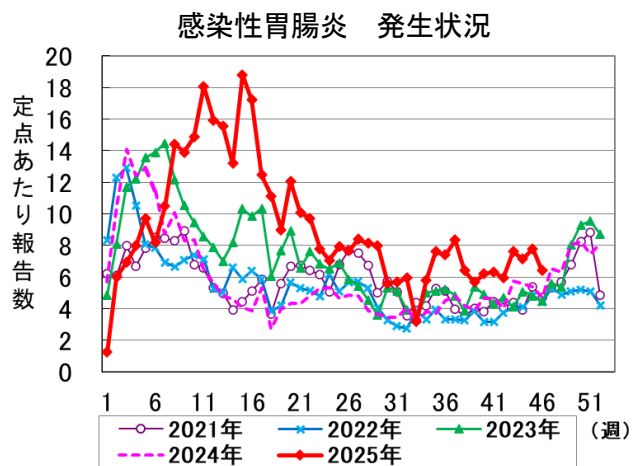
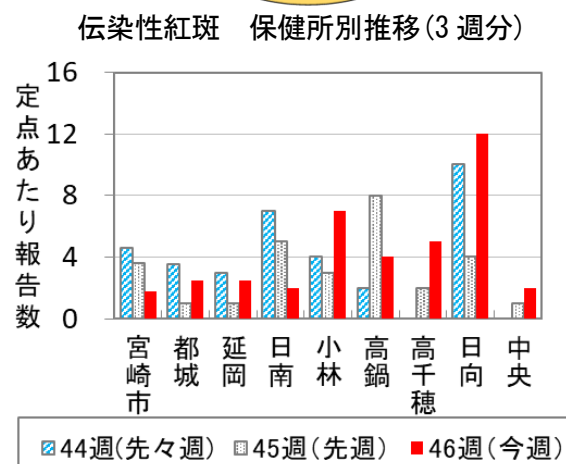
※2025 年第 15 週からは定点医療機関数が 58 から 28 に変更



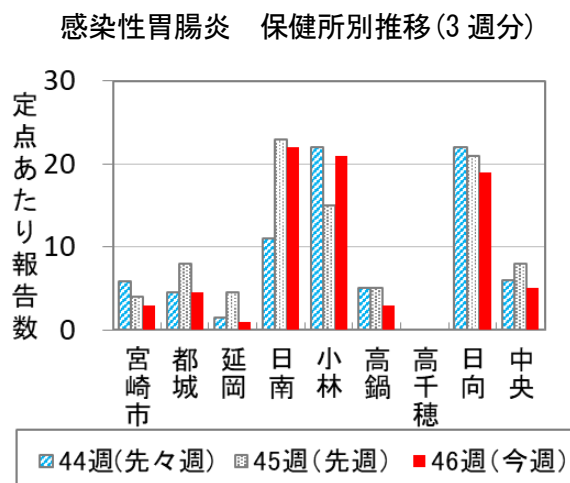
インフルエンザ年齢群別グラフ (第 46 週)



※2025 年第 15 週からは定点医療機関数が 36 から 15 に変更



※2025 年第 15 週からは定点医療機関数が 36 から 15 に変更



★基幹定点からの報告★

○マイコプラズマ肺炎：報告数は1例(定点当たり0.1)で、宮崎市保健所から報告があった。年齢は10～14歳であった。

★保健所別 流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患

保健所名	流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患
宮崎市	インフルエンザ(16.4)、水痘(1.4)
都城	伝染性紅斑(2.5)
延岡	インフルエンザ(30.7)、伝染性紅斑(2.5)
日南	インフルエンザ(14.0)、感染性胃腸炎(22.0)、伝染性紅斑(2.0)
小林	感染性胃腸炎(21.0)、伝染性紅斑(7.0)
高鍋	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(13.0)、水痘(1.0)、伝染性紅斑(4.0)
高千穂	伝染性紅斑(5.0)
日向	伝染性紅斑(12.0)
中央	伝染性紅斑(2.0)

※流行警報レベル開始基準値※

- ・インフルエンザ(30)
- ・A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(8)
- ・感染性胃腸炎(20)
- ・伝染性紅斑(2)

※流行注意報レベル基準値※

- ・インフルエンザ(10)
- ・水痘(1)

※流行警報レベル開始基準値、流行注意報レベル基準値は令和6年度まで運用した参考値です。

□病原体検出情報（衛生環境研究所微生物部）

★急性呼吸器感染症 (Acute Respiratory Infection : ARI)

(2025 年第 45 週:11 月 3 日～11 月 9 日搬入分)

検出病原体			検出数
インフルエンザウイルス	A型	AH1pdm09	0
		AH3	2
	B型	ビクトリア系統	0
		山形系統	0
新型コロナウイルス			0
RSウイルス	A型		0
	B型		0
パラインフルエンザウイルス	1型		1
	2型		0
	3型		0
	4型		0
ヒトメタニューモウイルス			1
ライノウイルス			5
エンテロウイルス			0
アデノウイルス			0
ライノウイルス・アデノウイルス			1
検出せず※2			5
受付検体数			15

○ 急性呼吸器感染症 (ARI) ※1サーベイランス検体について、急性呼吸器感染症サーベイランス遺伝子検査マニュアルに従い、検査を実施した。

※1 急性呼吸器感染症(ARI)：咳嗽、咽頭痛、呼吸困難、鼻汁、鼻閉のいずれか1つ以上の症状を呈し、発症から10日以内の急性的な症状であり、かつ医師が感染症を疑う外来症例

※2 左記のいずれのウイルスも検出されなかった検体数を計上

✚ 全国 2025 年第 45 週の発生動向

□ 全数報告の感染症

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	195 例				
3類感染症	コレラ	1 例	細菌性赤痢	1 例	腸管出血性大腸菌感染症	67 例
4類感染症	E型肝炎	14 例	A型肝炎	1 例	重症熱性血小板減少症候群	1 例
	つつが虫病	3 例	デング熱	3 例	日本紅斑熱	19 例
	レジオネラ症	44 例	レプトスピラ症	3 例		
	アメーバ赤痢	4 例	ウイルス性肝炎	3 例	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	11 例
5類感染症	急性弛緩性麻痺	1 例	急性脳炎	15 例	クロイツフェルト・ヤコブ病	1 例
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	15 例	後天性免疫不全症候群	9 例	侵袭性インフルエンザ菌感染症	4 例
	侵袭性肺炎球菌感染症	34 例	水痘(入院例)	8 例	梅毒	110 例
	播種性クリプトコックス症	2 例	破傷風	1 例	百日咳	598 例
	麻しん	1 例				

□ 定点把握の対象となる 5 類感染症

定点医療機関当たりの患者報告総数（急性呼吸器感染症除く）は前週比 118%と増加した。なお、前週と比較して増加した主な疾患はインフルエンザで、減少した主な疾患は新型コロナウイルス感染症、RSウイルス感染症、感染性胃腸炎及び伝染性紅斑であった。また、急性呼吸器感染症の報告数は前週比 98%とほぼ横ばいであった。

インフルエンザの報告数は 84,183 人(21.8)で前週比 146%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値* (0.7) の約 33.7 倍であった。宮城県(47.1)、埼玉県(45.8)、神奈川県(36.6)からの報告が多く、年齢群別では 15 歳未満が全体の約 7 割を占めた。

伝染性紅斑の報告数は 1,545 人(0.7)で前週比 81%と減少した。例年同時期の定点当たり平均値* (0.4) の約 1.8 倍であった。宮崎県(3.0)、鹿児島県(2.9)、愛媛県(2.7)からの報告が多く、年齢群別では 3 歳から 6 歳が全体の約 6 割を占めた。

* 新型コロナウイルス感染症流行前 5 年間(2015－2019)の当該週、前週、後週（計 15 週）の平均値

月報告対象疾患の発生動向 <2025 年 10 月>

性感染症

【宮崎県】 定点医療機関総数：13

定点医療機関からの報告総数は32人(2.5)で、前月比94%と減少した。また、昨年10月(3.9)の約0.6倍であった。

《疾患別》

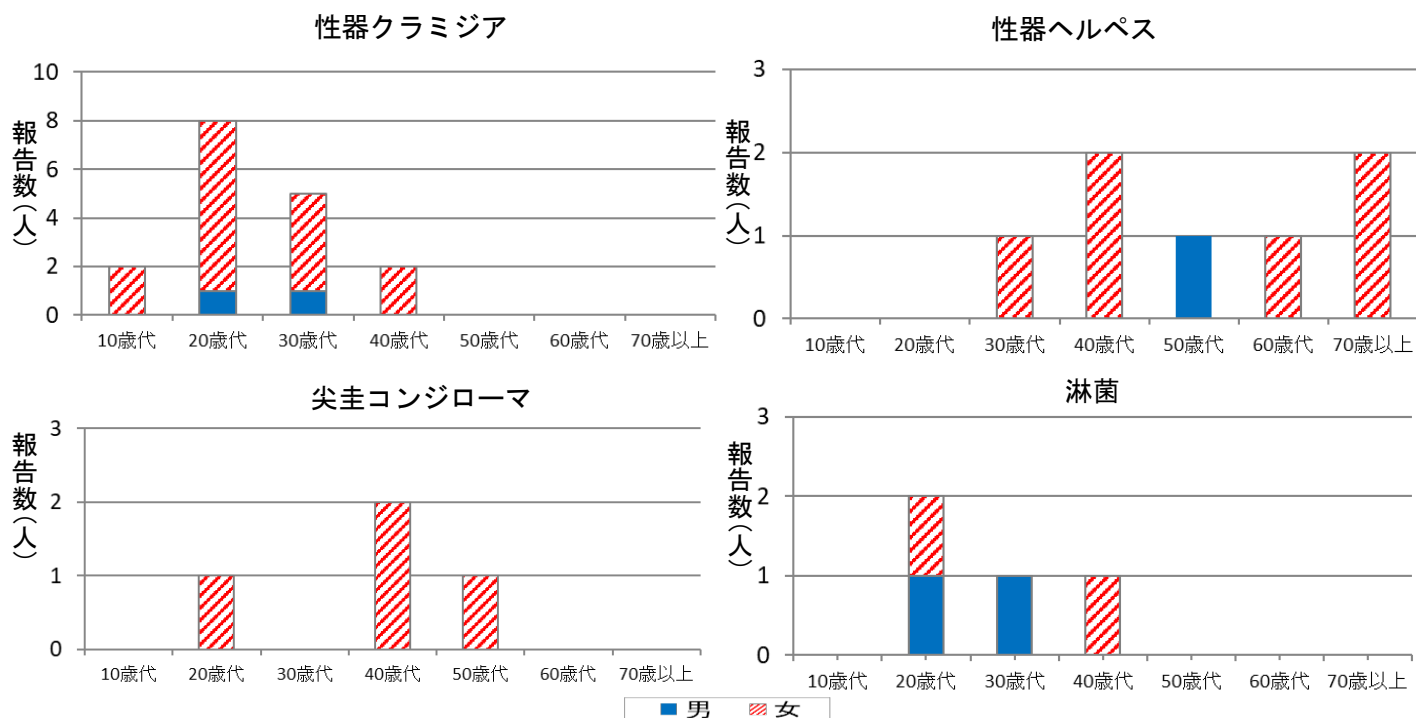
○性器クラミジア感染症：報告数17人(1.3)で、前月の約0.9倍、昨年10月の約0.6倍であった。

20歳代が全体の約半数を占めた。(男性2人・女性15人)

○性器ヘルペスウイルス感染症：報告数7人(0.54)で、前月の約0.6倍、昨年10月の約0.8倍であった。(男性1人・女性6人)

○尖圭コンジローマ：報告数4人(0.31)で、前月の約2.0倍、昨年10月の約0.7倍であった。(女性4人)

○淋菌感染症：報告数4人(0.31)で、前月の約4.0倍、昨年10月の約0.4倍であった。(男性2人・女性2人)



【全国】

定点医療機関からの報告総数は4,799人(4.9)で、前月比97%とほぼ横ばいであった。疾患別報告数は、性器クラミジア感染症2,595人(2.7)で前月比97%、性器ヘルペスウイルス感染症908人(0.93)で前月比96%、尖圭コンジローマ534人(0.55)で前月比102%、淋菌感染症762人(0.78)で前月比94%であった。

薬剤耐性菌

【宮崎県】 定点医療機関総数：7

定点医療機関からの報告総数は26人(3.7)で、前月比124%と増加した。また、昨年10月(2.1)の約1.7倍であった。

《疾患別》

○メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症：報告数26人(3.7)で、前月の約1.2倍、昨年10月の約1.7倍であった。70歳以上が全体の約7割を占めた。

○ペニシリン耐性肺炎球菌感染症：報告なし。

○薬剤耐性緑膿菌感染症：報告なし。

【全国】

定点医療機関からの報告総数は1,211人(2.6)で、前月比95%とほぼ横ばいであった。疾患別報告数は、メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症1,181人(2.5)で前月比94%、ペニシリン耐性肺炎球菌感染症22人(0.05)で前月比125%、薬剤耐性緑膿菌感染症8人(0.02)で前月比200%であった。

疾病名		第45週	第46週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	151	342	148	24	92	28	8	10	12	18	2
	定点当り	5.39	12.21	16.44	6.00	30.67	14.00	4.00	5.00	6.00	9.00	1.00
新型コロナウイルス感染症	報告数	49	41	13	3	9	3	3		8	1	1
	定点当り	1.75	1.46	1.44	0.75	3.00	1.50	1.50	0.00	4.00	0.50	0.50
RSウイルス感染症	報告数	24	22	4	4	5	1		5		1	2
	定点当り	1.60	1.47	0.80	2.00	2.50	1.00	0.00	5.00	0.00	1.00	2.00
咽頭結膜熱	報告数	7	9	3		1	2		2		1	
	定点当り	0.47	0.60	0.60	0.00	0.50	2.00	0.00	2.00	0.00	1.00	0.00
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告数	60	55	25	5	6		5	13		1	
	定点当り	4.00	3.67	5.00	2.50	3.00	0.00	5.00	13.00	0.00	1.00	0.00
感染性胃腸炎	報告数	117	96	15	9	2	22	21	3		19	5
	定点当り	7.80	6.40	3.00	4.50	1.00	22.00	21.00	3.00	0.00	19.00	5.00
水痘	報告数	5	9	7		1			1			
	定点当り	0.33	0.60	1.40	0.00	0.50	0.00	0.00	1.00	0.00	0.00	0.00
手足口病	報告数		1			1						
	定点当り	0.00	0.07	0.00	0.00	0.50	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
伝染性紅斑	報告数	45	51	9	5	5	2	7	4	5	12	2
	定点当り	3.00	3.40	1.80	2.50	2.50	2.00	7.00	4.00	5.00	12.00	2.00
突発性発しん	報告数	5	4	2	1			1				
	定点当り	0.33	0.27	0.40	0.50	0.00	0.00	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00
ヘルパンギーナ	報告数	1	1	1								
	定点当り	0.07	0.07	0.20	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
流行性耳下腺炎	報告数		1			1						
	定点当り	0.00	0.07	0.00	0.00	0.50	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
急性出血性結膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	12	15	6	5	4						
	定点当り	2.00	2.50	2.00	2.50	4.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ肺炎	報告数	1	1	1								
	定点当り	0.14	0.14	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	

2025年 第45週(11月03日～11月09日)

		第44週	第45週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
急性呼吸器感染症	報告数	1420	1537	367	211	215	140	127	67	84	183	143
	定点当り	50.71	54.89	40.78	52.75	71.67	70.00	63.50	33.50	42.00	91.50	71.50

ARI定点:28、小児科定点:15(ARI定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

●全数把握対象疾患累積報告数(2025年 第1週～46週 保健所受理分)

2類感染症	結核	116例(2)				
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	28例(1)				
4類感染症	E型肝炎	3例	A型肝炎	1例	重症熱性血小板減少症候群	7例
	つつが虫病	8例	デング熱	2例	日本紅斑熱	30例(1)
	レジオネラ症	8例	レプトスピラ症	1例(1)		
5類感染症	アメーバ赤痢	4例	ウイルス性肝炎	2例	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	2例
	急性脳炎	2例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	16例	後天性免疫不全症候群	4例
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	3例	侵襲性肺炎球菌感染症	20例	水痘(入院例)	3例
	梅毒	110例	播種性クリプトコックス症	1例	破傷風	3例
	百日咳	1,395例(3)				

()内は今週届出分、再掲